



神戸大学・東北大学・東北復興連合会議 ジョイントシンポジウム 東日本大震災からの復興中期以降の課題



主催：神戸大学社会科学系教育研究府、東北大学災害科学国際研究所、東北復興連合会議

◆日時：2016年1月18日(月)13時30分～17時

◆場所：東北大学 災害科学国際研究所 1階多目的ホール

◆主なプログラム

- ・趣旨説明 神戸大学 社会科学系教育研究府 特命准教授 紅谷昇平
- ・特別講演「兵庫県における阪神・淡路大震災の復興中期以降の取組と課題」
齋藤富雄 元兵庫県副知事、(公財)兵庫県国際交流協会 理事長
- ・講演「新潟県中越地震からの段階的地域復興の取組」
稲垣文彦 (公社)中越防災安全推進機構 アーカイブス・メモリアルセンター長
- ・講演「東日本大震災被災地の復興の概要と課題」
丸谷浩明 東北大学災害科学国際研究所 教授
- ・講演「東日本大震災と阪神・淡路大震災の復興比較」
甲斐茂利 東北復興連合会議(日本政策投資銀行東北復興支援室長)
- ・パネルディスカッション「東日本大震災被災地の復興中期以降の課題と対策」
パネリスト:上記登壇者のほか
井内加奈子 東北大学災害科学国際研究所准教授

＜参加無料＞ 事前の登録をお願いいたします

⇒ お申し込み

東北大学 災害科学国際研究所 丸谷研究室

メール: sakangakumin@irides.tohoku.ac.jp TEL: 022-752-2156 FAX: 022-752-2155

開催趣旨

東日本大震災からの復興で国は、当初の 5 年間で「集中復興期間」と位置付けたが、阪神・淡路大震災等の事例を見ても、経済や生活の復興には 10 年を超える期間で考えていく必要がある。集中復興期間は、あくまで復興初期と捉えるべきであり、今後の復興中期以降の対応について、現段階から検討していくことが必要である。

そこで、本シンポジウムでは、阪神・淡路大震災等の復興の最前線で取り組んだ実務者の経験から、今後の東日本大震災の復興中期以降の留意点や課題について意見交換を行っていききたい。

プログラム

- 1 開会挨拶 東北大学災害科学国際研究所 奥村 誠 副所長
- 2 趣旨説明 神戸大学 社会科学系教育研究府 特命准教授 紅谷昇平
- 3 講演
特別講演「兵庫県における阪神・淡路大震災の復興中期以降の取組と課題」
齋藤富雄 元兵庫県副知事、(公財)兵庫県国際交流協会 理事長
講演1「新潟県中越地震からの段階的地域復興の取組」
稲垣文彦 (公社)中越防災安全推進機構 アーカイブス・メモリアルセンター長
講演2「東日本大震災被災地の復興の概要と課題」
丸谷浩明 東北大学災害科学国際研究所 教授
講演3「東日本大震災と阪神・淡路大震災の復興比較」
甲斐茂利 東北復興連合会議(日本政策投資銀行東北復興支援室長)
- 4 パネルディスカッション「東日本大震災被災地の復興中期以降の課題と対策」
パネリスト: 齋藤富雄 元兵庫県副知事、(公財)兵庫県国際交流協会 理事長
稲垣文彦 (公社)中越防災安全推進機構アーカイブス・メモリアルセンター長
甲斐茂利 東北復興連合会議(日本政策投資銀行東北復興支援室長)
井内加奈子 東北大学災害科学国際研究所 准教授
コメンテータ: 紅谷昇平 神戸大学 コーディネーター: 丸谷浩明 東北大学
- 5 閉会の挨拶(東北復興連合会議)

会場地図 災害科学国際研究所 (地下鉄青葉山駅より徒歩 3 分)

